

# W32-RS232C-RS

# 汎用入力

## RS-232C汎用データ取込ソフト

使用できる機種  
RS-232C通信ポートを介してデータを入力する測定器類。ただし、すべてのデータ取り込みを保証するものではありません。

品番	接続方法	価格	動作環境
W32-RS232C-RS	RS-232C	<b>90,000円</b>	Windows7/8.1/10/11 (32bit or 64bit) Excel2013/16/19/21 (32bit版 Only)

### 機能



- ・データロガーとしての活用**  
指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。最大200,000回までのデータが連続して取り込みます。垂れ流し方式の機器のデータを、データ受信毎にExcelシートに取り込むこともできます。また、垂れ流し方式の機器でも、指定された時間間隔でデータ取り込みが可能です。指定時間間隔内に受信したデータは破棄されます。
  - ・複数構成の受信データを分割して取り込みことができます。**  
指定された分割文字で、測定データを最大30分割し、それぞれExcelシートに取込みます。数値データは判定を外れた場合赤色で入力されます。文字データの場合は、「NG」「NOGO」「FAIL」のどれかが含まれると赤色で入力されます。
- 注1) 機器とパソコンを接続するためのPC接続ケーブルは、ユーザ側でご用意いただく必要があります。

### 概要

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。測定条件を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

スタートすると、指定された時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

### 操作説明

- 測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。
- 測定データをExcelに取込を開始します。STOPボタンで任意に測定を中止できます。
- 「連番」にチェックを付けた場合、連番の先頭番号を指定します。
- ヘッダ(測定項目名)を測定開始の時にExcelシートに入力します。
- 日付を受信データとともに入力します。時刻にチェックを付け、日付にチェックが無い場合は、日付が初回だけ入力されます。
- データの入力と共にシートをスクロールします。
- 時刻を受信データとともに入力します。
- 測定器からデータが垂れ流しで送られてくる場合、受信の都度、Excelシートに入力する時、チェックを付けます。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。PAUSE中に受信したデータは読み捨てます。

データの取込を中断します。

再測定のため、1つ前の受信データを削除します。

PAUSE中、または、データ受信待ちの時、Excelシート上のカーソルを移動し、このボタンをクリックすると、その位置が、データ入力位置に再設定されます。

受信データに連番を付加してExcelシートへ入力します。

スタートからの経過時間を受信データとともに、Excelシートへ入力します。

RS-232Cの通信条件を設定します。(後述参照)

データを取込む時間間隔(秒)を入力します。入力できる最大時間は、1,000,000秒です。その間に受信したデータは破棄されます。

データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、200,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、200,000回です。

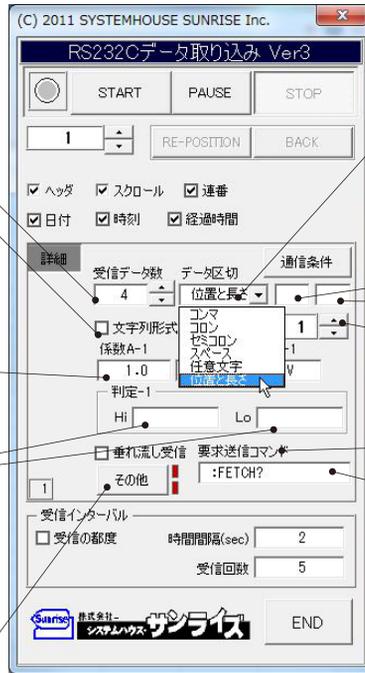
- データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。PAUSE中に受信したデータは読み捨てます。
- データの取込を中断します。
- 再測定のため、1つ前の受信データを削除します。
- PAUSE中、または、データ受信待ちの時、Excelシート上のカーソルを移動し、このボタンをクリックすると、その位置が、データ入力位置に再設定されます。
- 受信データに連番を付加してExcelシートへ入力します。
- スタートからの経過時間を受信データとともに、Excelシートへ入力します。
- RS-232Cの通信条件を設定します。(後述参照)
- データを取込む時間間隔(秒)を入力します。入力できる最大時間は、1,000,000秒です。その間に受信したデータは破棄されます。
- データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中断できます。また、何も入力されていないときは、200,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、200,000回です。

受信データを分割する数を入力します。最大30分割です。

受信データを文字列として扱う場合にチェックを付けます。チェックを付けない場合は、数値として有効な場合に限り、数値化してExcelへ入力します。この場合、判定条件が入力されている時、判定範囲を外れた場合、赤色で入力されます。チェックを付けた場合、数値化が有効なデータを受信すると、先頭にアポストロフ「'」を付けてExcelシートに入力します。

受信データが数値として有効な場合、係数演算を行った後、Excelシートへ入力します。演算方法は、下記の式を使用します。Excelへの入力 = (受信データ - B) \* A

演算結果の判定条件を入力します。空欄の場合は、判定を行いません。



受信データを分割に使用する区切り文字を指定します。「任意文字」を指定した場合、その1文字をテキストボックスに入力してください。「位置と長さ」を指定した場合、最初のテキストボックスに先頭文字位置を入力し、次のテキストボックスに文字の長さを入力します。受信データ数を「1」に設定したとき、データ区切りの設定は無視されますが、「位置と長さ」の指定だけは有効になります。

先頭文字位置

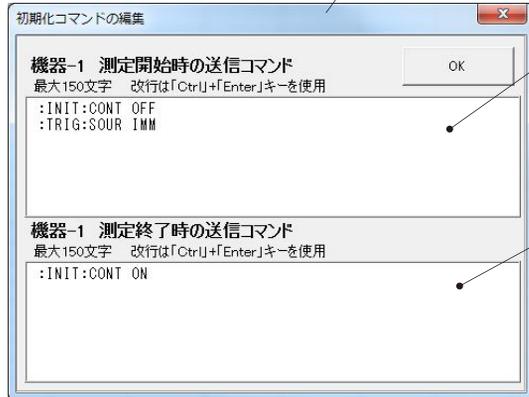
文字長さ

受信データ数が複数の場合、このスピンドットをUp/Downして、それぞれのデータの係数/単位/判定などを入力します。

測定器から一方的にデータが送信されてくる場合にチェックを付けます。

測定器へデータを要求するコマンドを入力します。

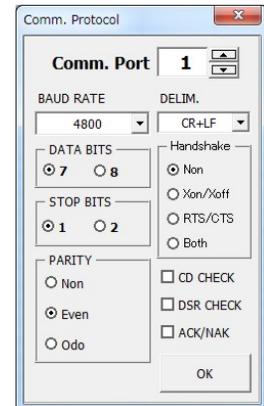
測定開始時の機能の切り換えや、レンジの設定、測定モードなどのコントロールに使用します。



測定開始と同時に測定器へ送信するコマンドを入力します。通常は、空欄で使用します。

測定終了時に測定器へ送信するコマンドを入力します。通常は、空欄で使用します。

### 通信条件



## USB-RS232C変換器の使用について

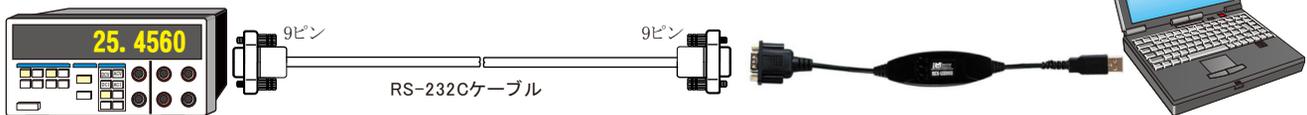
パソコンに測定器と接続できるRS232Cポートの空きがない、または、ノートパソコンにRS232Cポートが装備されていない場合、パソコンのUSBポートをRS232Cに変換して、測定器のRS232Cポートに接続します。

「USB-RS232C変換器」は、ユーザ側で市販のものをご用意ください。本商品には含まれておりません。

当社では、下記の「USB-RS232C変換器」で動作確認をしております。

また、各変換器に付属するインストールガイドに従って変換器のドライバを適切にインストールしてください。正常にインストールした後、その時に割り当てられたポート番号を確認し、上記の「通信条件の設定」のRS232Cポートに、その番号を設定します。

製造会社 ラトックシステム(株)  
 製品名 USB-シリアルコンバータ  
 品番 REX-USB60F  
 価格 5,800円



測定器とのRS232C接続ケーブルは、測定器ごとに様々ですから、測定器側の仕様により適切なケーブルをユーザ側で用意してください。RS232Cケーブルは、レーマル(ストレート)タイプとリバーズ(クロス)タイプがあり、多くの場合、リバースタイプが使用されますが、一部、ノーマルタイプが使用される場合もあります。また、古い測定器の場合、25ピンのコネクタを使用している場合があります。その場合は、25ピン-9ピン変換コネクタを使用する必要があります。また、その測定器専用の接続ケーブルを測定器製造メーカーが用意している場合がありますから、その場合は、測定器製造メーカーから入手してください。